

特別陳列

鉄道と考古学

奈良の歴史をつなぐ

主催 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
公益財団法人 由良大和古代文化研究協会

私たちの社会を支えるライフラインの1つである鉄道が、奈良県で開通してからすでに130年余りになります。今回の特別陳列「鉄道と考古学」では、過去のひとびとの社会を探る学問である考古学の視点から、奈良県の鉄道の歴史をふりかえります。考古学からひもとく鉄道のすがた、そして考古学を支えた鉄道の技術など、鉄道と考古学のつながりについてご紹介いたします。



大阪鉄道亀瀬隧道出土
レール切片
(国土交通省近畿地方整備局大和川河川事務所)



京都市下京区東塩小路釜殿町出土
汽車土瓶「奈良」
(公益財団法人京都市埋蔵文化財研究所)



唐古・鍵遺跡第1次発掘調査で用いられた
トロッコ用レールの犬釘
(田原本町教育委員会)

研究講座

- 【日時】令和6年1月7日(日) 13:00～15:30(12:00開場)
- 【会場】橿原考古学研究所 講堂 ※申込不要、無料
- 鈴木 朋美(当館主任研究員)「考古学と鉄道のつながり」
- 北山 峰生(当研究所指導研究員)「鉄道の時代—近代奈良の考古学—」

その他の展示資料

- 天理市田部町出土 煉瓦塊 (天理市教育委員会)
- 奈良市法蓮町出土 土管 (当研究所)
- 大阪電気軌道デボ1形復元車両前照灯
(近畿日本鉄道株式会社) など

列品解説

- 【日時】令和5年12月23日(土)
令和6年1月6日(土)・13日(土)
各日10:30～(30分程度)
- 【会場】当博物館 特別展示室 ※申込不要、観覧券が必要

【おもて】

写真[左上から時計回り]:大阪電気軌道デボ1形復元車両(近鉄グループホールディングス株式会社)、旧国鉄奈良駅出土煉瓦(当研究所)、旧国鉄奈良駅轉車台(当研究所)、大阪電気軌道デボ1形復元車両前照灯(近畿日本鉄道株式会社)
背景画像:[上] 明治32年奈良駅構内改造成造出願添付図面*一部改変(奈良県立図書館情報館所蔵)、[下] 旧国鉄奈良駅轉車台平面図(当研究所)
煉瓦のモチーフ(表裏とも):
<https://www.pakutaso.com/20200544129post-27423.html>

観覧料金

	一般	高校・大学生	小・中学生
個人	400円	300円	200円
20名以上の団体	350円	250円	150円

開館日時

	月	火	水	木	金	土	日	
						16	17	■ 開館日
12月	18	19	20	21	22	23	24	
	25	26	27	28	29	30	31	休館日 月曜日 (1/8は開館) 12/28～1/4 1/9
1月	1	2	3	4	5	6	7	
	8	9	10	11	12	13	14	

開館時間 9:00～17:00(入館は16:30まで)

奈良県立橿原考古学研究所附属博物館
The Museum, Archaeological Institute of Kashihara, Nara Prefecture



博物館の
サイトに
アクセス!

- 〒634-0065 奈良県橿原市畝傍町50-2
- TEL (0744)24-1185 FAX (0744)24-1355
- URL <http://www.kashikoken.jp/museum/>

特別公開
再現!高松塚古墳の漆塗木棺

特別陳列と同じ観覧券でご覧いただけます
2023年12月9日(土)～2024年1月14日(日)



- 近鉄橿原線《畝傍御陵前駅Unebigoryomae sta. B41》下車…西出口から西へ徒歩約5分
- 近鉄南大阪線《橿原神宮前駅Kashiharajingu-mae sta.K42・B42》下車…中央出口から北へ徒歩約15分
- 駐車場(約40台分)あり